

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名: 児童デイサービス りらくす中広

記入年月日: 令和 4年 12月 7日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		部分的に改善が必要な所があるが、スペースは問題ない。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		児童の数や支援に応じて適切な数の職員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		バリアフリーではあるが、部分的な面で設備で改善できる所は行い安全を確保していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○	改善を図る為のミーティングはできているが、スポットを当てての具体的な振り返りに少し課題あり。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年1回アンケート調査を実施し、改善できるよう心掛けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は行なっていないが、会社内で他事業所と連携を図り、業務の改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		自社内の研修に積極的に参加を促したり、社外の研修の案内を提示する等、機会は設けている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当者が立案したプログラムについて、チームで打ち合わせを行う中で工夫が必要であれば付け加える等、チームで考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		前回と同じ活動を取り組む場合もあるが、中身を変えたり、特性に合った動きとなるような工夫は行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		療育日誌を作成しそれを基に日々の支援内容、役割分担、注意すべき点について確認をおこなっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		送迎の兼ね合いで、その日の内に振り返りを行えない事もあるが、翌日に振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援経過記録、療育日誌を通して日々記録している。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		ガイドライン(ウ)の地域交流に関しては、近隣店舗への買い物体験を通して、社会体験、地域交流を行っている。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校によっては、学校の方に伺い様子を見させて頂いたり、話し合いの場を持っている。下校時刻や連絡調整に関しては保護者を介する事が多いが、学校との直接的やりとりも行っている。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケア時の受け入れが、現在ない。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保育園との情報共有は行えていないが、自社の児童発達支援事業所とは移行前に会議を行い、情報共有。また、移行後も連携を図っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	中学生になると自社の中高校生対象事業所へ移行をする流れがある為、直接情報提供をする機会がないが、自社の中高校生対象事業所へ移行の際は情報提供は行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		今年度は参加の機会がなかったが、研修があれば参加をしたり、サービス会議の際や相談すべき内容があった際には連絡を取り、話しをしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	コロナ禍の為、難しい面もあるが、近隣の公園に外出活動を行った際には、地域の児童と触れ合う機会は持っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	地域部会やこども部会へは積極的な参加をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニングは行えていないが、個別で事業所内相談は行っている。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	事業所としては行えていないが、自社としては定期的に関係者会を開催している。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報の発行は行っていないが、Instagramでの活動の発信、毎月書面で、イベント案内等の発信は行っている。
35		個人情報に十分注意しているか	○		
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	事業所としては行えていないが、自社として西区の事業所合同で地域住民の方も参加できるイベント開催は行った。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを作成し、契約時に保護者様へ周知を行っているが、既存の保護者様へは、マニュアルの変更があった時のみのお伝えになってしまっている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		ハザードマップや避難確保計画を基に話し合い、訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に事業所の数人で研修に参加し、不参加の職員へは事業所内で研修を行い、周知してもらっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書は受け取っていないが、保護者様と情報のすり合わせを行い、マニュアル作成、ファイリングを行い全職員が周知できるようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		